

協議会だより 第37号 (2012年10月1日)

発行 越谷流通団地運営協議会
事務局 越谷市流通団地1丁目1番20号

発行責任者 山崎由三郎
協同組合 越谷卸センター

編集責任者 甲斐秀治
TEL 048-989-4111

「越谷駅東口再開発ビル—越谷ツインシティ」オープン

越谷駅東口は、駅前という好立地にありながら、商店や住宅が混在し、さまざまな建物が立ち並んでいました。平成2年に駅前の土地所有者などで構成する再開発推進協議会が発足し、平成3年5月に再開発準備組合が設立されて事業が進められました。再開発事業の対象区域は、約2.6ha、総事業費約256億円（国や県、市が約90億円助成）を投じて商業施設、住宅、公共施設の他、駅前広場や都市計画道路を整備し、市の玄関に相応しい越谷駅東口が9月15日に“まちびらき”を迎えました。

再開発ビルは、A棟、B棟からなり、この施設を「越谷ツインシティ」と呼びます。A棟は地上29階建ての住宅（397戸）と4階建ての商業施設（床面積約12000㎡）からなります。B棟は、4階にパスポートセンターと中央図書室、5階に市民活動センターが既にオープンしております。さらに、1～2階にも商業施設が予定されています。再開発事業で、駅前広場や周辺道路も整備されました。駅前広場は、整備前の2倍、約7000㎡の広さになり、駅前ロータリーは、バスやタクシーが利用する南側、一般車両が利用する北側の2つのロータリーに分けられ、利用しやすくなります。



(平成24年9月13日越谷駅前で甲斐撮影)

施設構成			
(Aシティ) 1～4階…スーパー、飲食、衣料、雑貨、医療など 地下1階…駐輪場			
(Bシティ) 1～4階…証券、不動産、サービス施設など 4～5階…公共施設(市民活動支援センター、 観光・物産情報コーナー、 中央図書室、バスポートセンター)			
東口駐車場	Bシティ	Aシティ	住宅
	公共施設 5F		
P5F	公共施設 4F	4F	
P4F	3F	3F	
P3F	2F	2F	
P2F	1F	1F	
P1F			
	B1F 道路	B1F	

(広報こしがや お知らせ版平成24年9月号より転載)

越谷流通団地運営協議会主催「ゴルフコンペ」を楽しみませんか！

本年度通常総会で、新規事業として承認されましたゴルフコンペの開催を下記のとおり企画しました。第1回目のコンペですので、流通団地の皆様のご参加をお願いします。

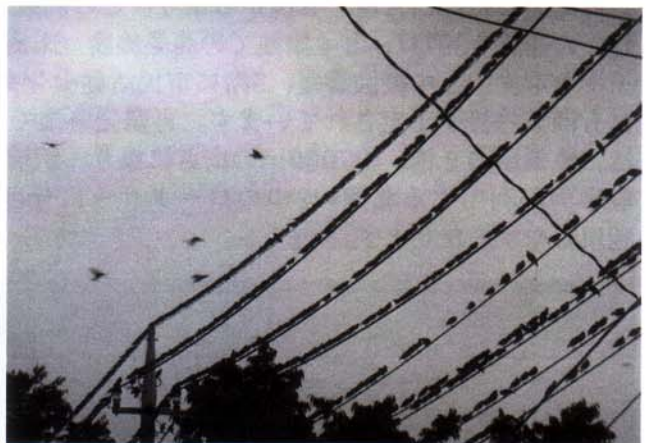
日頃あまりお付き合いの無かった方々と、秋空の下でスコアは別にして1日ボールを追っかけ、楽しくまわり、交流と懇親を深めましょう。こうしたなかから新しい交流が生まれ、新たな何かが生まれれば、流通団地の活性化にも繋がるでしょう。

- 開催日：平成24年10月14日（日）
- 場所：サンモリッツカントリークラブ
〒327-0513 栃木県佐野市牧町2378 TEL0283-86-4111
- スタート：午前9時（集合 8時30分）
- 募集人数：4組16名
- プレイ費：9,950円（昼食付き・各自精算）
- 参加費：2,000円

ご存知ですか 椋鳥の大群の騒音や糞害に悩まされています！

9月9日のTBSのテレビ番組「噂の！東京マガジン」で「襲来！町埋め尽くす怪鳥大群に住民騒然」というレポートが紹介されていました。この場所は、春日部駅前の周辺で、椋鳥の大群が飛来して、騒音と糞害に、毎日住民が悩まされているというものでした。当団地でも、以前はトラックターミナルの前の通りの電線に椋鳥の大群が夕方になると飛来して、周辺の企業の皆さんはたいへん困っていました。ところが、今年の夏ごろから、埼玉県倉庫団地協同組合事務所周辺の電線にやはり大群が夕方になると押し寄せ、組合事務所の周辺に大量の糞や羽毛を落として、臭いはするし、掃除もたいへんで困っている。また、近くに団地バスの停留所があり、バスを待っている人のすぐ上の電線に椋鳥の大群が止まっているので、次のバス停まで歩いている人もいます。この椋鳥対策には、各地で悩まされているようであるが、これといった有効な対策は見つかっていないようである。春日部では、樹木に網をかぶせて鳥が止まらないようにしたところ、近く別のところに移動しただけであったと言う。どなたか対策をご存知の方は教えてください。

一口メモ 椋鳥について一岩波国語辞典によると「ツグミぐらいの大きさの、むくどり科の鳥。背は灰褐色、顔・腹は白い。森にいて、昆虫・木の実などを食べる。鳴き声がやかましい。保護鳥。とある。



(ケヤキの樹や電線に群れる椋鳥の大群 平成24年9月13日 甲斐撮影)

相変わらず「ゴミのポイ捨て」は、減りません！ みんなでゴミは捨てない、持ち帰る を心がけましょう！

当流通団地では、会員の皆様の協力で、毎月第二火曜日には周辺のゴミ収集を行なっています。さらに、会費のなかから捻出して、毎月1回シルバー人材センターに委託して、団地内の主要道路沿い、運動公園周辺のゴミ収集を実施してきています。しかし、弁当の食べた後のゴミ、飲んだコーヒーやジュースの空き缶など、タバコの吸殻……が、街路樹の脇や歩道の辺りに捨てられています。自分の家には先ず捨てないで、道路脇等には平気で投げ捨てるのでしょうか。団地内の美観を損ねています。ゴミだらけの街は、犯罪を誘発します。流通団地が、住みよい街であるためにも、流通団地で働く皆さんも、取引業者の皆さんも一人一人が環境に配慮しましょう。

利根川水系で取水制限が9月11日から開始

9月11日から渇水対策のため利根川水系で10%の取水制限が開始されることになったため、埼玉県浄水場でも給水制限が始まることになった。荒川からの取水を増やして減少分を補充することから給水量の減少は5%程度の見込み。各家庭などへの影響は当面は無い模様であるという。

新会員紹介 移転先跡地に新築

■教科書販売(株) (教科書取次販売 10ブロック・(株)Paltac移転跡地に新築・平成25年6月竣工予定)

編集後記 東日本大地震から1年半余りが経過しました。瓦礫の処理も、復興事業もなかなか進んでいません。こういう状態のため被災地の雇用確保も不十分です。これに福島原発事故と政治の混迷が影を落とし、一層先行きを不透明にしています。

当団地も大震災直後は、計画停電、軽油、ガソリンの不足、被災地への輸送網の混乱など様々な影響がありましたが、かなり落ち着きを取り戻し、大震災前の状態に戻ってきています。一部には、増設や建て替えも行なわれております。当団地の物流基地としての立地条件、有用性の高さが改めて評価されています。

会員の皆様方にホットな情報をお届けするため、投稿をよろしくお願ひします。

印刷：JT印刷(株)